

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）
〔PCT36 条及び PCT 規則 70〕

出願人又は代理人 の書類記号 PCT2004-P683	今後の手続きについては、様式 PCT/ I P E A / 4 1 6 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/ J P 2 0 0 4 / 0 1 4 8 3 7	国際出願日 (日. 月. 年) 07. 10. 2004	優先日 (日. 月. 年) 10. 10. 2003
国際特許分類 (I P C) Int.Cl. ⁷ A41D19/00		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社島精機製作所		

<p>1. この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。</p> <p>2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>3</u> ページからなる。</p> <p>3. この報告には次の附属物件も添付されている。</p> <p>a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で <u>1</u> ページである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT 規則 70. 16 及び実施細則第 607 号参照)</p> <p><input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙</p> <p>b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)</p>	
<p>4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎</p> <p><input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権</p> <p><input type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</p> <p><input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 PCT35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見</p>	

国際予備審査の請求書を受理した日 25. 07. 2005	国際予備審査報告を作成した日 07. 11. 2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (I P E A / J P) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) ニッ谷 裕子	3 B 9339
電話番号 03-3581-1101 内線 3320		

様式 PCT/ I P E A / 4 0 9 (表紙) (2005 年 4 月)

Best Available Copy

第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

☒ 出願時の言語による国際出願

☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文

☐ 国際調査 (PCT 規則 12.3(a) 及び 23.1(b))

☐ 国際公開 (PCT 規則 12.4(a))

☐ 国際予備審査 (PCT 規則 55.2(a) 又は 55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第 6 条 (PCT 14 条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-7 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 2 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*、PCT 19 条の規定に基づき補正されたもの

第 1, 3, 4 _____ 項*、25.07.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-4 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT 規則 70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲 1-4	有
	請求の範囲	無
進歩性(IS)	請求の範囲 1-4	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-4	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: J P 2003-268613 A (住友ゴム工業株式会社) 2003.09.25

文献2: J P 2003-253509 A (株式会社島精機製作所) 2003.09.10

文献3: J P 3046511 U (高砂編物株式会社) 1997.12.17

請求の範囲1-4に係る発明は、国際調査報告に引用された文献には記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

特許協力条約

発信人 日本国特許庁（国際予備審査機関）

代理人 株式会社島精機製作所 知的財産部 様 あて名 〒641-8511 日本国和歌山県和歌山市坂田85番地

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）の
送付の通知書

（法施行規則第57条）
〔PCT規則71.1〕

出願人又は代理人 の書類記号 PCT2004-P683

発送日 （日.月.年）	22. 11. 2005
----------------	--------------

国際出願番号 PCT/J P 2004/014837	国際出願日 （日.月.年） 07. 10. 2004	優先日 （日.月.年） 10. 10. 2003
-------------------------------	-------------------------------	-----------------------------

出願人（氏名又は名称） 株式会社島精機製作所

1. 国際予備審査機関は、この国際出願に関して特許性に関する国際予備報告及び付属書類が作成されている場合には、それらをこの送付書とともに送付することを、出願人に通知する。

2. 国際予備報告及び付属書類が作成されている場合には、すべての選択官庁に通知するために、それらの写しを国際事務局に送付する。

3. 選択官庁から要求があったときは、国際事務局は国際予備報告（付属書類を除く）の英語の翻訳文を作成し、それをその選択官庁に送付する。

4. 注 意

出願人は、各選択官庁に対し優先日から30月以内に（官庁によってはもっと遅く）所定の手続（翻訳文の提出及び国内手数料の支払い）をしなければならない（PCT39条（1））（様式PCT/IB/301とともに国際事務局から送付された注を参照）。

国際出願の翻訳文が選択官庁に提出された場合には、その翻訳文は、特許性に関する国際予備報告の付属書類の翻訳文を含まなければならない。この翻訳文を作成し、関係する選択官庁に直接送付するのは出願人の責任である。

選択官庁が適用する期間及び要件の詳細については、PCT出願人の手引き第Ⅱ巻を参照すること。

出願人はPCT第33条(5)に注意する。すなわち、PCT第33条(2)から(4)までに規定する新規性、進歩性及び産業上利用可能性の基準は国際予備審査にのみ用いるものであり、締約国は、請求の範囲に記載されている発明が自国において特許を受けることができる発明であるかどうかを決定するに当たっては、追加の又は異なる基準を適用することができる（PCT第27条(5)も併せて参照）。そのような追加の基準は、例えば、実施可能要件や特許請求の範囲の明確性又は裏付け要件を、特許要件から免除することを含む。

名称及びあて名 日本国特許庁（IPEA/J P） 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員 特 許 庁 長 官 電話番号 03-3581-1101 内線 3320	3 B	9 3 3 9
--	---	-----	---------

様式PCT/IPEA/416（2004年1月）

添付用紙の注意書きを参照

Best Available Copy

請求の範囲

- [1] (補正後) 指先側から履き口側に向けて編み立てられ、各指袋、四本胴、五本胴がそれぞれ伸縮性のある弾性糸のゴム編み組織で編成されたベース編地を有し、該ベース編地内に張力を付加された状態の弾性糸がインレイされるとともに少なくとも指袋の編み始め部分、指股部分にインレイ糸の抜け止めのためのノッティング編成が施されてなる横編機で編成された高度のサポート特性を有するシームレス手袋。
- [2] ベース編地がゴムジャカード組織で編成されている請求項1に記載の高度のサポート特性を有するシームレス手袋。
- [3] (補正後) 指股部分が手袋を裏返した状態でフラットなマチを形成するように高密度なゴム編みにより指袋の前側部分と後側部分が編み合わされている請求項1または2に記載の高度のサポート特性を有するシームレス手袋。
- [4] (補正後) 五本胴の親指側が手首に向けて減らし編成により徐々に編み幅が減少されている請求項1乃至3の何れかに記載の高度のサポート特性を有するシームレス手袋。

手続補正書

(法第11条の規定による補正)

特許庁長官殿

(特許庁審査官 ニッ谷裕子殿)

1 国際出願の表示 PCT/J P 2 0 0 4 / 0 1 4 8 3 7

2 出願人(代表者)

名称 株式会社島精機製作所

SHIMA SEIKI MFG., LTD.

あて名 〒641-8511日本国和歌山県和歌山市坂田85

85, Sakata, Wakayama-shi, Wakayama

641-8511 JAPAN

国籍 日本 JAPAN

住所 日本 JAPAN



管理番号	P-683	国コード	WO
II	付05.7.22	書類名	手続補正
34条補正			

3 補正の対象 請求の範囲

4 補正の内容

(1) 請求の範囲第8頁第1項の1行目の「指先側から履き口側に向けて、または履き口から指先側に向けて編み立てられ、」を「指先側から履き口側に向けて編み立てられ、」に補正、4行目の「弾性糸がインレイされてなる」を「弾性糸がインレイされるとともに少なくとも指袋の編み始め部分、指股部分にインレイ糸の抜け止めのためのノットイング編成が施されてなる」に補正する。

(2) 請求の範囲第8頁第3項の1行目の「指先側から履き口側に向けて編み立てられ、少なくとも指袋の編み始め部分、指股部分にインレイ糸抜け止めのためのノットイング編成が施されているとともに指股部分が」を「指股

部分が」に補正する。

- (3) 請求の範囲第8頁第4項の1行目の「五本胴の少なくとも親指側が減らし編成により」を「五本胴の親指側が手首に向けて減らし編成により」に補正、2行目の「請求項3に記載」を「請求項1乃至3の何れかに記載」に補正する。

5 添付書類の目録

(1) 請求の範囲第8頁

請求の範囲

- [1] (補正後) 指先側から履き口側に向けて編み立てられ、各指袋、四本胴、五本胴がそれぞれ伸縮性のある弾性糸のゴム編み組織で編成されたベース編地を有し、該ベース編地内に張力を付加された状態の弾性糸がインレイされるとともに少なくとも指袋の編み始め部分、指股部分にインレイ糸の抜け止めのためのノッティング編成が施されてなる横編機で編成された高度のサポート特性を有するシームレス手袋。
- [2] ベース編地がゴムジャカード組織で編成されている請求項1に記載の高度のサポート特性を有するシームレス手袋。
- [3] (補正後) 指股部分が手袋を裏返した状態でフラットなマチを形成するように高密度なゴム編みにより指袋の前側部分と後側部分が編み合わされている請求項1または2に記載の高度のサポート特性を有するシームレス手袋。
- [4] (補正後) 五本胴の親指側が手首に向けて減らし編成により徐々に編み幅が減少されている請求項1乃至3の何れかに記載の高度のサポート特性を有するシームレス手袋。

AMENDMENT

(Amendment under provisions of Article 11 of Law)

Patent Office Examiner, Esq.

(Examiner: Ms. Yuko FUTATSUYA)

5 1. International Application No. PCT/JP2004/014837

2. Applicant (Representative)

Name: SHIMA SEIKI MFG., LTD.

Address: 85 Sakata Wakayama-shi, Wakayama

641-8511 JAPAN

10 Nationality: Japan

Address: Japan

3. Subject of Amendment: Claims

4. Contents of Amendment

(1) In the original claim 1 at page 8, line 3, please amend "set up
15 knitting from a tip of finger toward a mouth or from the mouth toward the
tip of finger" to "set up knitting from a tip of finger toward a mouth", and at
page 8, line 6, please amend "an elastic yarn in a tensed state is inlaid in
the base knitted fabric" to "an elastic yarn in a tensed state is inlaid in the
base knitted fabric and the inlay yarn is knotted at least at a location at
20 which the knitting of the finger starts and at a finger crotch part, to prevent
cast-off of the inlay yarn"

(2) In the original claim 3 at page 8, line 2, please amend "wherein the
knitting sets up from the tip of finger toward the mouth, wherein the inlay
yarn is knotted at least at a location at which the knitting of the finger
25 starts and at a finger crotch part, to prevent cast-off of the inlay yarn, and

wherein a front part and a back part of each finger are knitted to be combined with each other by rib knitting of high stitch density so that when the glove is put in a reversed state, a flat gore is formed at the finger crotch part” to “wherein a front part and a back part of each finger are knitted to be combined with each other by rib knitting of high stitch density so that
5 when the glove is put in a reversed state, a flat gore is formed at the finger crotch part”.

(3) In the original claim 4 at page 8, line 2, please amend “at least a part of the five-finger body on the thumb side is gradually reduced in
10 knitting width by narrowing knitting” to “a part of the five-finger body on the thumb side is gradually reduced toward a wrist part in knitting width by narrowing knitting”. In the original claim 4 at page 8, line 1, please amend “according to Claim 3” to “according to any one of Claims 1 to 3”.

5. List of accompanying documents:

15 (1) Claims: Page 8